

2022年6月 新型コロナウイルスに関する生活者調査

2022/6/21

6月の「生活自由度」は調査開始以来の最高値、63.5点に。 「行動の抑制」が引き続き緩む

株式会社博報堂(本社-東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2022年6月、新型コロナウイルスが流行している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウイルスに関する生活者調査」を実施しました(調査期間は6月2~6日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名。調査概要は4ページ参照)。

【調査前の状況】3年ぶりに緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの行動制限がないゴールデンウィークが終了。全国の新規感染者数は、連休明けにやや増加傾向を見せたものの、5月中旬から再び減少に転じ、そのまま月末まで減少が続きました。5月20日には厚生労働省がマスクを外してもよい場合を例示した「マスク着用の考え方」を発表。6月からは海外からの入国者数制限を緩める方針も発表されました。感染状況が落ち着きを見せ、人流も社会経済活動も活発化の機運が高まる中で調査です。

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

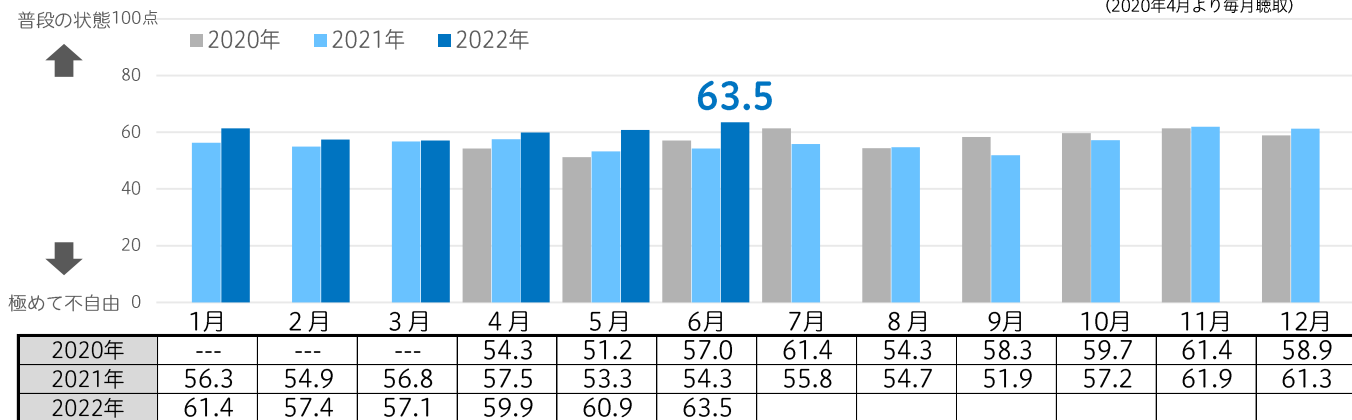
2022年6月は、63.5点

前月差
+2.7pt

前年同月差
+9.2pt

暮らしの自由度について感染拡大以前の普段の状態を100点とすると、現在は何点くらいかをきいたところ、2022年6月は63.5点となりました。先月からは2.7pt増と3か月連続で上昇し、調査開始以来の最高値です。前年同月との比較でも9.2pt増と大きく上回っています。

(2020年4月より毎月聴取)



※調査では小数第2位まで集計していますが、本稿は小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は前月と比べて大きな変化はみられません。「人づきあいの変化」(37.5%、2.2pt減)、「自分や家族の仕事・収入」(57.7%、1.5pt減)などが微減した程度です。【行動の抑制度】はすべての項目で前月より減少しました。「不要不急の外出」(56.5%、5.6pt減)、「体験型エンタメ」(56.0%、4.8pt減)など。【行動の実施度】では前月から大きな変化はみられません。減少した項目では「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(50.3%、3.4pt減)、増加した項目では「家の中でできる運動」(41.7%、2.5pt増)など。

		回答率 「あてはまる」「ややあてはまる」の計	前月差	前年同月差
【不安度】 感じている不安	人づきあいの変化	37.5%	- 2.2pt	- 10.0pt
	自分や家族の仕事・収入	57.7%	- 1.5pt	- 0.9pt
	海外の情勢	73.5%	- 1.2pt	+ 7.6pt
【行動の抑制度】 控えている行動	不要不急の外出	56.5%	- 5.6pt	- 24.0pt
	体験型エンタメ	56.0%	- 4.8pt	- 24.3pt
	交友・交際	57.4%	- 4.5pt	- 22.5pt
【行動の実施度】 行っている行動	混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	50.3%	- 3.4pt	- 9.8pt
	スマホやパソコンなどでのゲーム	41.4%	- 2.5pt	- 7.1pt
	家の中でできる運動	41.7%	+ 2.5pt	- 3.3pt

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

6月の「生活自由度」は3か月連続で上昇し、調査開始以来の最高値である63.5点に。

新規感染者数の増加と「まん延防止等重点措置」適用地域の拡大で2月、3月に低下していた生活自由度は、3月21日の同措置全面解除後、4月は59.9点(前月差で2.8pt増)、5月は60.9点(同0.9pt増)、6月は63.5点(同2.7pt増)と3か月連続で上昇。2020年4月の調査開始以来の最高値となりました。

回答理由からは、規制や自粛は残るものの、実質的にもムード的にも行動が緩和されている様子がかがえる

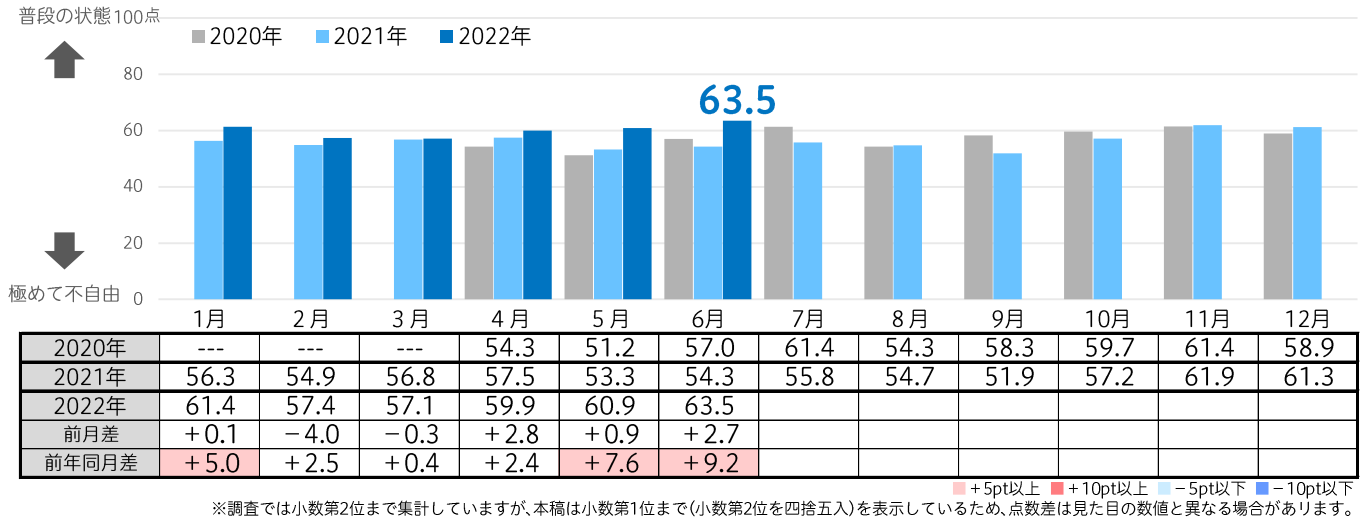
生活自由度「高」:「新しい試みをし、夢も膨らみ楽しい」とコロナ禍の時間を積極的に評価する人、「感染拡大前に戻るのは不安」と現状こそ快適だととらえている人もいますが、買い物や演奏会、食事ができるなど「少しずつ元通りになってきている」と回答している人が多くみられました。

生活自由度「中」:「友人とお茶はOKだが、観劇や旅はまだ」「都内に出るのはまだ」など、自粛の線引きは残るものの、緩和ムードは高まっているとの声がみられます。ただ「アプリでの事前予約や整理券が必要」など新たな面倒を感じる声や、「マスクへの同調圧力」を感じる声もみられます。

生活自由度「低」:まだまだ様々な我慢を強いられている様子が多くみられます。人との接触が減り、「1人での行動がさみしい」という声もいくつか寄せられました。コロナ禍による業務負担増、テレワークができない対面型の職場、夫の在宅で家事のしわ寄せ負担増などを嘆く声もみられます。

生活自由度

(単位: 点 / 差分: pt)



生活自由度の理由(一部抜粋)

生活自由度	理由	ポイント	性別・地域
高 (61点以上)	コロナで活動制限があったが、そのお陰で空いた時間を有効に使おうと考えて、自分たちの手で山小屋作りを始めた。やることは沢山あり、できあがる楽しさも持てたし、夢も膨らんで、楽しく過ごせている。	100点	51歳女性・愛知県
	むしろ感染拡大以前に戻ることに不安さえ感じる。	100点	44歳男性・東京都
	少しずつ元通りになってきているので90点。100点にならないのは、元通りになってきているが故に、マスクを外すか外さないかの議論がされていること。個人的にはウイルスに関係なくマスクは外したくない。マスクを外さない日常になり、コロナ前のように遊び歩けるのが理想です。	90点	22歳女性・愛知県
	日頃の買い物はふつうに戻った感じである。遠出に関してはやはりまだ怖いと思い、以前より減ったままである。昨日、息子が熱を出したので二人でPCR検査を受けたが、陰性で安心した。	80点	65歳女性・大阪府
	参加している社会人オーケストラの演奏会が再開でき、更に、演奏会終了後の食事会も感染対策を取りつつ実施できるところまで戻ってきた。あともう一息。	70点	61歳男性・東京都
中 (41~60点)	規制や自粛の雰囲気はまだ残っているものの、明らかにそれを緩めようという機運が生まれている。実際に自分もその流れに乗りつつあるから。	60点	46歳男性・愛知県
	舞台は見に行けませんが、たまに友人とコーヒーくらいは行けて、好きな本もたくさん読める。でも旅行にはいけない。なので60点くらいかな。	60点	65歳女性・岐阜県
	都内に出かけるのは控えたり、別居している両親に会うのも少し心配で控えている。買い物については、スーパーは日曜日が混むため、入口と出口が別になっているので少し面倒。マスク生活も暑くて大変。	60点	57歳女性・埼玉県
	好きな店や場所に行くとき、アプリなどで事前予約が必須となり、気軽に利用しづらくなっている。期間限定ショップの催しものがある場合でも、整理券を配布したりするので、気軽に自由に店内に入れなくなり、ストレスがたまる。	50点	37歳女性・東京都
	マスクをつけないといけない同調圧力。	50点	34歳男性・大阪府
低 (40点以下)	友達と会えないこと、外では色々なことを気にしながら過ごさないといけないことが結構辛い。マスクで肌荒れしてきつい。	40点	23歳女性・大阪府
	人とコンタクトを取ることが少なくなった。1人で行動することが多くさみしい。	35点	48歳男性・愛知県
	コロナの影響で会社の売り上げが減り、人も減り、自分への負担が増え、残業続きでしんどい状態。	30点	55歳男性・大阪府
	テレワークもできず、時差出勤も許されない。県の感染者が増えて休業にでもなれば、今度は他県の店舗へ出張に行かされる。営業できるようになっても、ノーマスク同然のお客さんが大きな声を上げるような職場だから。	20点	29歳女性・大阪府
	夫が在宅勤務です。職場が近所なので、家に帰り食事の用意をすることになり負担が増えた。夫が家で仕事の合間に時間ができ、家庭管理にうろさくなり、お金でもめた。今は夫がやりくりするまでになり、最悪な状態です。	0点	53歳女性・東京都

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態]と収束後の行動[予想]

【不安度】は前月と比べて大きな変化はみられない

前月比較では「人づきあいの変化」(37.5%、2.2pt減)、「自分や家族の仕事・収入」(57.7%、1.5pt減)が微減となった程度です。前年同月比較では、ほとんどの項目が減少。「行政の対応」(67.1%、11.6pt減)、「人づきあいの変化」(37.5%、10.0pt減)が大きく減少しています。

【行動の抑制度】はすべての項目で前月より減少

前月比較では、「不要不急の外出」(56.5%、5.6pt減)、「体験型エンタメ」(56.0%、4.8pt減)などが目立ちます。前年同月比較でも、「体験型エンタメ」(56.0%、24.3pt減)、「不要不急の外出」(56.5%、24.0pt減)をはじめ、すべての項目で10pt以上減少しました。

【行動の実施度】では前月からは大きな変化はみられず

前月比較では、減少は「混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物」(50.3%、3.4pt減)、増加は「家の中でできる運動」(41.7%、2.5pt増)程度。前年同月比較では、「家の中でできる娯楽」(54.0%、17.6pt減)をはじめ、5pt以上減少している項目が多くみられます。

収束後に取り組むと思う行動[予想]…[実態]より[予想]が高いのは、「SNSの閲覧・投稿」(+9.0pt)、「自分で料理する」(+8.5pt)などとなっています。

■ 生活意識・行動

【不安度】

	[実態] 感じている不安					(単位: % / 差分: pt)
	22年4月	22年5月	22年6月	前月差	前年同月差	
海外の情勢	79.0	74.7	73.5	-1.2	+7.6	
経済の停滞	74.9	72.9	73.3	+0.4	-3.6	
行政の対応	68.3	66.0	67.1	+1.1	-11.6	
自分や家族の健康	63.3	61.5	61.2	-0.3	-9.6	
情報の不足や不確かさ	62.5	59.0	57.9	-1.1	-8.9	
自分や家族の仕事・収入	58.9	59.2	57.7	-1.5	-0.9	
人づきあいの変化	42.9	39.7	37.5	-2.2	-10.0	

【行動の抑制度】

	[実態] 控えている行動					[予想] 収束後に控えると思う行動					予想と実態の差(最新月)
	22年4月	22年5月	22年6月	前月差	前年同月差	22年4月	22年5月	22年6月	前月差	前年同月差	
人とのボディタッチ(握手やハグなど)	75.3	69.6	65.7	-3.9	-14.8	62.1	60.5	59.9	-0.6	+1.0	-5.8
旅行・レジャー	74.6	65.9	63.6	-2.3	-21.3	49.7	45.9	45.0	-0.9	-1.7	-18.6
交友・交際	70.3	61.9	57.4	-4.5	-22.5	52.1	48.1	47.5	-0.6	-0.9	-9.9
不要不急の外出	68.6	62.1	56.5	-5.6	-24.0	57.4	52.7	51.7	-1.0	-3.0	-4.8
体験型エンタメ(ライブ・観劇・映画鑑賞など)	69.5	60.8	56.0	-4.8	-24.3	49.9	47.0	44.5	-2.5	-2.2	-11.5
外食	64.7	57.2	53.0	-4.2	-24.0	47.9	44.5	45.1	+0.6	-2.6	-7.9
不要不急の買い物	61.4	55.6	51.8	-3.8	-20.3	52.9	50.8	48.8	-2.0	-2.9	-3.0

【行動の実施度】

	[実態] 取り組んでいる行動					[予想] 収束後に取り組むと思う行動					予想と実態の差(最新月)
	22年4月	22年5月	22年6月	前月差	前年同月差	22年4月	22年5月	22年6月	前月差	前年同月差	
感染対策の徹底(マスク着用や手洗いなど)	89.5	87.9	85.7	-2.2	-6.8	80.8	79.3	78.9	-0.4	-2.1	-6.8
十分な運動・栄養・睡眠	75.0	70.9	70.4	-0.5	-4.5	80.8	76.9	76.2	-0.7	-6.8	+5.8
感染対策商品や日用品の備蓄	69.1	64.9	63.6	-1.3	-5.3	69.0	65.1	65.2	+0.1	-2.7	+1.6
キャッシュレスでの支払い	64.2	61.9	60.7	-1.2	-2.3	66.2	65.0	64.0	-1.0	-0.7	+3.3
家の中でできる娯楽	61.3	55.0	54.0	-1.0	-17.6	54.6	50.2	51.6	+1.4	-2.1	-2.4
感染対策を徹底している店や施設の利用	55.8	53.8	51.8	-2.0	-6.6	55.1	53.2	51.3	-1.9	-4.4	-0.5
自分で料理する	55.4	51.7	51.4	-0.3	-5.9	61.1	58.3	59.9	+1.6	-3.4	+8.5
混む時間を避けたり、来店頻度を減らした買い物	59.2	53.7	50.3	-3.4	-9.8	53.9	51.7	49.3	-2.4	-4.4	-1.0
人が密集しない屋外でのレジャー	43.5	45.1	44.0	-1.1	+2.5	52.1	50.1	48.8	-1.3	-1.1	+4.8
自家用車での移動	48.7	43.1	42.6	-0.5	-7.7	45.7	45.3	43.9	-1.4	-2.3	+1.3
ストリーミングサービスの利用(動画や音楽など)	43.7	43.3	42.2	-1.1	-6.7	47.0	45.1	45.8	+0.7	-3.8	+3.6
家の中でできる運動	41.8	39.2	41.7	+2.5	-3.3	48.8	48.4	47.5	-0.9	-2.2	+5.8
スマホやパソコンなどでのゲーム	43.5	43.9	41.4	-2.5	-7.1	43.8	43.8	43.7	-0.1	-4.0	+2.3
インターネット通販や出前の利用	43.0	37.2	39.1	+1.9	-8.4	45.1	42.3	39.8	-2.5	-2.5	+0.7
人が密集しない屋外での運動	41.0	39.3	38.1	-1.2	-2.0	49.1	44.9	42.1	-2.8	-2.6	+4.0
SNSの閲覧・投稿	38.1	38.1	38.1	±0.0	-4.4	45.3	47.9	47.1	-0.8	+0.2	+9.0
時差通勤・時差通学	34.1	33.2	30.8	-2.4	-5.2	37.0	38.1	35.7	-2.4	-0.2	+4.9
家の環境充実(通信環境整備や家電購入など)	31.1	29.1	29.0	-0.1	-3.2	38.2	36.7	36.2	-0.5	+0.2	+7.2
副業(検討含む)	28.2	29.3	28.3	-1.0	-1.2	30.7	30.1	31.0	+0.9	-0.6	+2.7
テレワーク※有職者ベース	28.2	27.4	27.1	-0.3	-4.1	30.5	29.0	30.0	+1.0	+0.3	+2.9
モノを手作りする(手芸、リフォーム、DIYなど)	26.4	25.2	27.1	+1.9	-1.8	33.5	30.5	32.2	+1.7	-0.8	+5.1
投資や資産運用	27.5	26.8	27.1	+0.3	+0.6	38.7	36.6	35.5	-1.1	+1.2	+8.4
普段より少し良いものを買う	26.9	24.0	26.0	+2.0	-1.9	31.5	29.9	30.7	+0.8	+0.2	+4.7
フリマアプリ・ネットオークションでの購入	24.7	23.5	25.9	+2.4	+1.4	30.1	28.7	30.7	+2.0	+1.6	+4.8
フリマアプリ・ネットオークションでの出品・販売	24.1	23.3	25.0	+1.7	-0.5	28.5	27.9	27.1	-0.8	-0.6	+2.1
就職・転職・起業(検討含む)	21.9	23.4	23.4	±0.0	±0.0	24.3	25.7	24.6	-1.1	-1.8	+1.2
オンライン学習	18.5	18.3	19.4	+1.1	+1.2	24.4	24.0	22.9	-1.1	+1.0	+3.5
お店・団体の支援	20.1	17.3	18.0	+0.7	-1.9	23.0	21.5	21.9	+0.4	-0.8	+3.9
オンラインでの飲み会・食事会	18.0	17.3	17.8	+0.5	-1.3	18.8	17.3	17.1	-0.2	+0.2	-0.7
転居やリフォーム、複数拠点での生活(検討含む)	17.3	17.9	17.2	-0.7	+1.4	22.2	21.5	21.0	-0.5	+1.1	+3.8

新型コロナウイルスに関する生活者調査 調査概要

質問項目(質問文)

新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

新型コロナウイルス影響下での意識・行動[実態] ※一部、有職者ベースを含む

新型コロナウイルスの流行に関連して、次のような意見があります。
それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[※有職者]
2022年 6月 :1,057人
2022年 5月 :1,082人
2022年 4月 :1,070人

新型コロナウイルス収束後の行動[予想] ※一部、有職者ベースを含む

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次に挙げるような行動をしたいと思いますか。
それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答：すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

調査地域 ①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県)
②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県)
③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
調査対象者 20~69歳の男女
対象者割付 調査地域①~③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
調査人数 合計1,500人

(単位：人)

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	131	143	180	172	127	753
女性	128	140	178	169	132	747
合計	259	283	358	341	259	1,500

調査方法 インターネット調査
調査時期 2022年6月2日(木)~6日(月)(2020年3月から調査開始/毎月月上旬に調査実施)
企画分析 博報堂生活総合研究所
実施集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

(参考)調査期間中の社会の主な動き ※感染者数の出典：関連ホームページ(厚生労働省、東京都 それぞれ6月20日時点)

<2020年>

- 4月 7都道府県で「緊急事態宣言」が発出(5/6まで)
緊急事態宣言を全国に拡大
- 5月 緊急事態宣言が解除(39県、後に大阪・兵庫・京都)
1都3県含む47都道府県すべてで解除
- 6月 東京で警戒情報「東京アラート」が発動
- 9月 東京でGoToトラベルの予約開始
- 10月 GoToイートの予約開始
- 11月 GoToトラベルの一時停止を首相表明
東京や大阪を含め10都道府県でGoToイート中断
- 12月 GoToトラベルが一時中止(東京、後に全国)

<2021年>

- 1月 緊急事態宣言が再発出(1都3県、後11都府県に拡大)
- 2月 緊急事態宣言、3月7日まで延長が決定
- 3月 大阪・兵庫・京都で同宣言解除、3/21に1都3県解除
- 4月 まん延防止等重点措置の適用が順次拡大
緊急事態宣言、東京・大阪・兵庫・京都に、3度目の発出
- 5月 緊急事態宣言の継続、拡大、延長(愛知・福岡追加)
高齢者へのワクチン接種進む
大規模接種センター開設(東京・大阪)
- 6月 緊急事態宣言、沖縄を除き解除
7都道府県はまん延防止等重点措置へ移行、3県は継続
- 7月 緊急事態宣言、東京(4度目)、首都圏3県・大阪に拡大
東京五輪開幕
北海道・石川・京都・兵庫・福岡にまん延防止等重点措置

<2021年>

- 8月 新規感染者が全国2万5千人超、東京で5千人超を記録
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)、9月末まで延長
東京パラリンピック開幕
- 9月 新規感染者の減少 月初の2万人台が中旬には6千人規模に、下旬には千人を下回る日も
重症者の減少 初旬2千人超で過去最多を更新後、減少を続け月末には千人を下回る
ワクチンの2回接種者が全人口の5割を超える
緊急事態宣言(19都道府県)、まん延防止等重点措置(8県)が全面解除(9/30)
都は感染警戒レベル1段下げ(9/30)
- 10月 新規感染者数が100人以下、東京では一桁になるなど減少傾向が続く
- 11月 大規模イベントの上限制限撤廃 1都3県と大阪で飲食店への自粛要請の緩和
欧米での感染者急増の報道 11月末、新変異株「オミクロン株」国内初確認
下旬まで感染者数は低位推移 下旬に大阪や東京でオミクロン株の市中感染
- 12月

<2022年>

- 1月 1日9万人超など全国感染者数が急増 自宅療養者、救急搬送困難事例も大きく増加
「まん延防止等重点措置」の適用自治体は拡大を続け、月末には34都道府県に
- 2月 全国感染者数が1日10万人突破後、減少傾向に 北京冬季五輪・パラリンピック開幕
まん延防止等重点措置、5県では2月20日をもって解除、18都道府県では3月21日まで延長決定
まん延防止等重点措置が18都道府県で解除(3月21日)。全面解除は2か月半ぶり
全国の新規感染者数、初旬に拡大傾向をみせるも、その後は減少傾向へ

[今回の調査時点までの詳細]

- 5月 新規感染者数はGW後増加傾向をみせたが、中旬以後減少傾向を続ける
厚生労働省、マスク着用の考え方を発表
- 5月20日 政府、6月1日から水際対策を緩和し、1日あたりの入国者数上限を2万人にすると発表
- 6月1日 新規感染者全国22,624人、東京2,415人 東京は前週の同日を19日連続で下回る

<備考>

- ・本調査は当面実施し、毎月第3~4週頃に発表予定です(今後の状況変化により、調査内容などを変更する可能性があります)。
- ・過去のニュースリリース(2020年4月発表開始)は、以下のURLからご覧いただけます。
<https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/>